

NY マーケットレポート（2014 年 3 月 17 日）

昨晚の外国為替市場は、ウクライナ南部クリミア半島でのロシア編入に向けた住民投票が大きな混乱がなく終了したことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、アジア市場から安全資産とされる円を売る動きが優勢となりました。NY 市場では、米鉱工業生産が 3 ヶ月ぶりのプラス幅となったことや、堅調な株価動向を背景に、序盤のドル円・クロス円は堅調な動きとなりました。しかし、米国が対ロシア制裁措置を発表したことや、オバマ大統領が追加制裁の用意があると示したことを受けて、投資家のリスク回避の動きから、円を買う動きも見られました。ただ、現段階では、欧米の対ロシア制裁の内容が想定されていたよりも厳しくなかったとの見方から、下値は限定的となりました。午後に入ると小動きの展開が続き、市場では FOMC を控えて様子見ムードが広がったとの見方が示されていました。

2014/3/17 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.56	101.68	101.29
EUR/JPY	140.97	141.34	140.83
GBP/JPY	168.95	169.24	168.48
AUD/JPY	92.08	92.13	91.29
EUR/USD	1.3883	1.3915	1.3879

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.87	101.55
EUR/JPY	141.69	140.97
GBP/JPY	169.61	168.93
AUD/JPY	92.50	92.06
EUR/USD	1.3913	1.3882

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14277.67	-49.99
ハンセン指数	21473.95	-65.54
上海総合	2023.67	+19.33
韓国総合指数	1927.53	+7.63
豪ASX200	5317.56	-11.83
インドSENSEX指数	21809.80	+35.19
シンガポールST指数	3092.14	+18.42

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6568.35	+40.46
仏CAC40	4271.96	+55.59
独DAX	9180.89	+124.48
ST欧州600	325.83	+3.60
西IBEX35指数	9975.00	+163.00
伊FTSE MIB指数	20858.84	+512.27
南ア 全株指数	46816.65	+404.25

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.70	101.88	101.57
EUR/JPY	141.61	141.97	141.30
GBP/JPY	169.21	169.61	168.90
AUD/JPY	92.43	92.55	92.27
NZD/JPY	87.10	87.37	86.98
EUR/USD	1.3926	1.3948	1.3888
AUD/USD	0.9090	0.9099	0.9074

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16247.22	+181.55
S&P500	1858.83	+17.70
NASDAQ	4279.95	+34.55
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	14231.89	+4.23
ブラ ボルサ指数	休 場	
メク ボベスバ指数	45117.80	+152.14

*メキシコ市場はBenito Juarez dayで休場

3/18 経済指標スケジュール

15:00	【日】2月工作機械受注
16:00	【独】2月卸売物価指数
18:30	【南ア】4Q非農業部門雇用者
19:00	【欧】3月ZEW景況感調査
19:00	【欧】1月貿易収支
19:00	【独】3月ZEW景況感調査
21:00	【トルコ】政策金利発表
21:30	【米】2月消費者物価指数
21:30	【米】2月住宅着工件数
21:30	【米】2月建設許可件数
21:30	【カナダ】1月製造業出荷
22:00	【米】1月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1372.90	-6.10
NY 原油	98.08	-0.81
CME コーン	479.00	-7.00
CBOT 大豆	1391.75	+3.25

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.36%	0.34%
3年債	0.77%	0.74%
5年債	1.57%	1.53%
7年債	2.17%	2.13%
10年債	2.69%	2.65%
30年債	3.63%	3.59%

3/18 主要会議・講演・その他予定

・FOMC ～19日

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.80 ユーロ/円 141.39 ユーロ/ドル 1.3889

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6553.41	+25.52	ダウ INDEX FUTURE	16078	+86
仏 CAC40	4243.76	+27.39	S&P500 FUTURE	1842.60	+9.70
独 DAX	9115.15	+58.74	NASDAQ FUTURE	3641.50	+20.50

(出所: SBILM)

21:30

《 経済指標の結果 》

3月ニューヨーク連銀製造業景気指数 5.61 (予想 7.00・前回 4.48)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《NY連銀製造業景気指数》

現状)

	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月
業況	4.61	4.48	12.51	2.22	0.83	3.24	6.78
支払価格	21.18	15.00	36.59	15.66	17.11	21.69	21.51
新規受注	3.13	-0.21	10.98	-1.69	-3.46	6.60	2.62
出荷	3.97	2.13	15.52	4.69	1.46	12.98	15.69
在庫	7.06	-5.00	2.44	-21.69	-1.32	0.00	2.15
雇用者数	5.88	11.25	12.20	0.00	0.00	3.61	7.53

6ヵ月先の見通し)

	3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月
業況	33.21	38.99	37.51	38.96	38.32	40.86	40.39
支払価格	43.53	23.75	45.12	48.19	42.11	45.78	39.78
新規受注	36.02	45.31	39.10	30.15	39.31	36.94	37.71
出荷	35.17	43.33	30.58	33.31	37.09	33.74	37.66
在庫	1.18	12.50	-2.44	-4.82	6.58	-1.20	-2.15
雇用者数	17.65	25.00	20.73	9.64	22.37	7.23	4.30

同指標はゼロが景況の分岐を示す

21:30

《経済指標の結果》

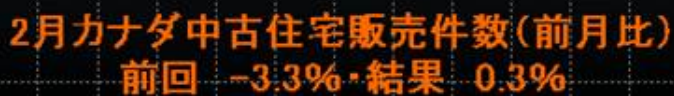
1月カナダ国際証券取扱高 10.09億CAD (前回 -42.8億CAD)



(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標の結果 》

2月カナダ中古住宅販売件数（前月比） 0.3%（前回 -3.3%）



(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標の結果 》

1月ポーランド経常収支 -11.35 億 EUR (予想 -7.99 億 EUR・前回 -8.43 億 EUR)

1月ポーランド貿易収支 4.19 億 EUR (予想 3.14 億 EUR・前回 -2.32 億 EUR)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 15

《 経済指標の結果 》

2月米鉱工業生産(前月比) 0.6%(予想 0.2%・前回 -0.3%)

2月米設備稼働率 78.8%(予想 78.6%・前回 78.5%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

2月・1月・12月・11月・10月・9月

鉱工業生産・・・0.6・・・-0.2・・・0.3・・・1.0・・・0.3・・・0.6

設備稼働率・・・78.8・・・78.5・・・79.2・・・79.1・・・78.4・・・78.3

最終製品・・・0.9・・・-0.3・・・0.3・・・0.4・・・0.2・・・1.1

製造業・・・0.8・・・-0.9・・・0.2・・・0.4・・・0.5・・・0.2

鉱業・・・0.3・・・0.5・・・-0.5・・・1.5・・・1.2・・・3.6

設備稼働率

製造業・・・76.4・・・75.9・・・76.7・・・76.6・・・76.5・・・76.3

鉱業・・・89.1・・・89.2・・・90.3・・・89.1・・・88.7・・・90.4



(出所: ネットダニアー)

22 : 36

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16183.83	+118.16
ナスダック	4278.90	+33.51

(出所: SBILM)

22 : 45

米制裁措置

- ・「クリミア侵攻に関与したロシア当局者の資産を凍結」
- ・「クリミア侵攻に関与したロシア当局者の渡航も禁止」
- ・「プーチン・ロシア大統領側近 2 人・解任されたウクライナ大統領のヤヌコビッチ氏を含む 11 人に適用」
- ・「ロシアのロゴジン副首相・クリミア自治共和国のアクショーフ首相およびロシア議員を対象に含む」
- ・「ロシア軍事産業に関わる個人および企業に適用」

23 : 00

《 経済指標の結果 》

3 月米 NAHB 住宅市場指数 47 (予想 50・前回 46)



指標結果データ

《NAHB 住宅市場指数》

3月・2月・1月・12月・11月・10月・9月・8月

住宅市場指数・・・47・・・46・・・56・・・57・・・54・・・54・・・57・・・58

現状指数・・・52・・・51・・・62・・・63・・・58・・・58・・・60・・・62

見通し指数・・・53・・・54・・・60・・・62・・・60・・・61・・・64・・・68

顧客動向指数・・・33・・・31・・・40・・・43・・・41・・・43・・・46・・・46

《海外の話題》

米国のウェストバージニアからニュージャージーに至る東部地域では17日、最大10インチ（25センチ）の降雪が予想され、通勤時の交通機関に支障が懸念されている。首都ワシントンの連邦政府機関は、この日閉鎖。米気象庁によると、前日のワシントン・ダレス国際空港では6.6インチに達し、3月16日の積雪としては過去最大を記録した。

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、クライナ・クリミア半島でのロシア編入に向けた住民投票が大きな混乱なく終了したとの見方を背景に、主要株価は堅調な動きとなっている。また、欧州株価が堅調な動きとなったことも材料視されている。

23 : 45

《 要人発言 》

オバマ米大統領

- ・「ウクライナの将来はウクライナ国民が決める必要」
- ・「プーチン大統領には住民投票が違法だと伝えた」
- ・「対ロシア制裁の範囲を拡大する」
- ・「追加制裁の準備がある」
- ・「ロシアには緊張緩和への選択肢が与えられている」
- ・「ウクライナ問題は、依然外交による解決は可能」

《 経済指標のポイント 》

(1) 3月のニューヨーク連銀製造業景況指数は5.6と、前月の4.5から上昇した。同指数はゼロが景況の拡大と縮小の境目を示す。新規受注は3.13（前月-0.2）、出荷3.97（2.13）、在庫7.06（-5.00）と前月から改善したものの、仕入価格は21.2（前月25）、雇用は5.9（前月11.3）と前月から低下となった。

(2) 2月の鉱工業生産指数は、前月比+0.6%となり、昨年11月以来3ヵ月ぶりのプラス幅となった。前月は寒波の影響もあって落ち込んだ自動車・同部品が盛り返すなど、製造業や鉱業が伸びて全体を引き上げた。

①製造業が+0.8%となり2ヵ月ぶりのプラス、鉱業は+0.3%と2ヵ月連続でのプラスとなった。一方、1月に3.8%と急上昇していた電力・ガスは-0.2%。

②主な製造業の活動は、主力の自動車・同部品が+4.8%と3ヵ月ぶりのプラスとなった。機械は+1.5%、コンピューター・電子製品は+0.3%、食品・飲料は+1.0%となった。木工製品は-1.2%、繊維は-1.0%となった。

③設備稼働率は78.8%と前月から0.3ポイント上昇。製造業の設備稼働率は76.4%だった。

(3) 3月のNAHB（全米ホームビルダー協会）住宅市場指数は、47と前月の46から上昇した。また、現況指数は52（前月51）、顧客動向は33（31）となったが、見通しは53（54）と前月から低下した。同指数で50を下回ると住宅建設業者の多くが現況を「悪い」とみていることを示す。

《 海外の話題 》

ウクライナ南部クリミア自治共和国の議会は、住民投票でロシアへの編入が承認されたことを受けて独立を宣言し、ロシアに編入を要請する決議を採択した。プーチン大統領は、18日クレムリンでクリミア情勢について演説する予定。クリミア国家を承認するとともに、編入についても言及するものとみられる。

独立宣言は9項目から成り、国名をクリミア共和国と定め、セバストポリはクリミアの中で特別の地位を持つと明記している。そして、ロシアに対しクリミアに「共和国」の地位を与えたうえで編入するよう求めている。

ウクライナの法律は効力を失い、国有財産はクリミアに移管される。ロシア通貨ルーブルもクリミアで使用できるようになる。同日午後には議会の代表団が、ロシア編入に向けた協議を始めるためモスクワに向かった。

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16226.47(+160.80)、S&P500 1854.20(+13.07) ナスダック 4285.28(+39.88)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、ウクライナ南部クリミア半島で実施されたロシア編入の是非を問う住民投票が大きな混乱なく終わったとして、投資家にリスク志向が戻り、安全資産とされる米国債の売りがやや先行した。その後は FOMC を前に様子見ムードも広がっており、もみ合いの展開が広がった。

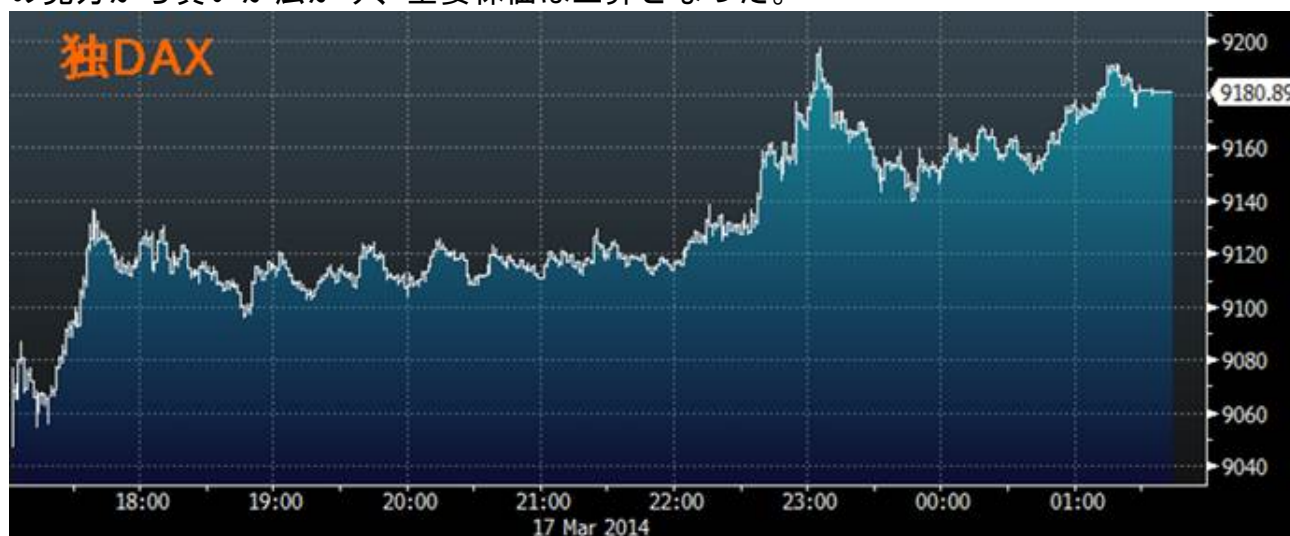
午前の利回りは、30年債が3.60%（前週末3.60%）、10年債が2.66%（2.66%）、7年債が2.15%（2.14%）、5年債が1.55%（1.54%）、3年債が0.75%（0.74%）、2年債が0.35%（0.34%）。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6568.35	+40.46
仏 CAC40	4271.96	+55.59
独 DAX	9180.89	+124.48
ストック欧州 600 指数	325.83	+3.60
ユーロファースト 300 指数	1297.45	+13.13
スペイン IBEX35 指数	9975.00	+163.00
イタリア FTSE MIB 指数	20858.84	+512.27
南ア アフリカ全株指数	46816.65	+404.25

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ウクライナ南部クリミア半島でのロシア編入に向けた住民投票が大きな混乱がなく終了したことや、欧米の対ロシア制裁の内容が想定より厳しくなかったとの見方から買いが広がり、主要株価は上昇となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 欧州債券市場 》

欧州債市場は、ウクライナからロシアへの帰属替えが支持されたクリミア住民投票の結果は深刻な対立を引き起こさないとの見方が広がり、ユーロ圏の高利回り債を買う動きが強まった。ポルトガル 10 年債利回りは前週末比 7bp 低下の 4.53%、イタリア 10 年債利回りは 3bp 低下の 3.38%、スペイン 10 年債利回りは 2bp 低下の 3.32%、ギリシャ 10 年債利回りは 19bp 低下の 7.04%となった。一方、ドイツ 10 年債利回りは 2bp 上昇の 1.57%となった。

3 : 20

ロシアのプーチン大統領は、クリミアを主権国家として承認する大統領令に署名～ロシア通信社

3 : 50

NY 金は、中心限月が前日比 6.10 ドル安の 1 オンス=1372.90 ドルで取引を終了した。

4 : 20

NY 原油は、中心限月が前日比 0.81 ドル安の 1 バレル=98.08 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1372.90	-6.10
NY 原油	98.08	-0.81

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY金は、ウクライナ南部クリミア半島で行われたロシア編入の是非を問う住民投票が大きな混乱なく終わったことや、欧米が発表した対ロシア制裁強化で制裁対象者が限られていたことなどから、投資家の間でリスク回避の動きが後退し、比較的安全な資産とされる金売られた。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、欧米によるロシアに対する制裁が、ロシア産原油の供給に悪影響を与える可能性は低いとの見方から、売りが先行し、3営業日ぶりに反落した。



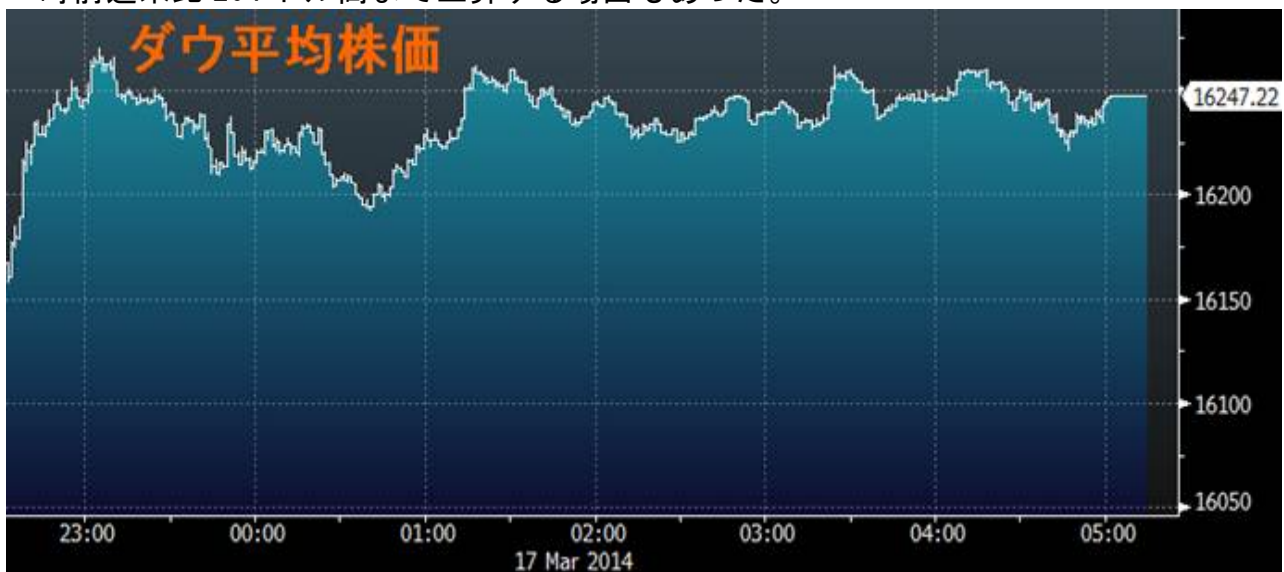
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16247.22	+181.55	16270.34	16066.37
S&P500 種	1858.83	+17.70	1862.30	1842.81
ナスダック	4279.95	+34.55	4301.28	4273.01

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、ウクライナ・クリミア半島でのロシア編入に向けた住民投票が大きな混乱なく終了したとの見方を背景に、主要株価は堅調な動きとなった。また、欧州株価が堅調な動きとなったことも材料視された。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比 204 ドル高まで上昇する場面もあった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.70	101.88	101.57
EUR/JPY	141.61	141.97	141.30
GBP/JPY	169.21	169.61	168.90
AUD/JPY	92.43	92.55	92.27
NZD/JPY	87.10	87.37	86.98
EUR/USD	1.3926	1.3948	1.3888
AUD/USD	0.9090	0.9099	0.9074

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想を上回る結果となったことや、株価が堅調な展開となったことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、米国が対ロシア制裁措置を発表したことを受けて、リスク回避の動きも見られ、やや軟調な動きとなった。その後はやや新規材料に乏しく、狭いレンジ内の展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。